

くにがみ
沖縄県国頭郡伊江村方言の立ち上げ詞

生 塩 睦 子

I. はじめに

1. 調査対象地： 伊江島は沖縄北部^{もとぶ}半島から北西9km離れた所にある。島は東西約8.4km、南北3km。島の中央に城山(172m)があり、その山麓から南海岸にかけて集落がひらけている。一島で一村(伊江村)をなしており、8か字からなる。生業は主として農業。本部半島渡久地港から伊江島までカーフェリーが就航(1日4~5往復、所要時間30分)。人口5,396人・世帯数2,004(2004年4月1日現在)。
2. 調査年月日：
 - A.面接質問調査—2005年9月2日午後10時~11時。9月3日午後9時~10時30分。9月4日午前10時~12時、午後1時半~午後4時。
 - B.郵送による補充調査—9月10日発送、9月20日受取。
 - C.電話による補充調査—9月21日午後7時~8時30分
3. 話者： A.知念シゲさん(1936年生)、B.新城 晃さん(1936年生)、
C.島袋満英さん(1935年生)
4. 調査者・調査場所：生塩睦子・調査者宅
5. 調査方法：統一調査票による質問調査、郵送および電話による補充調査
6. その他： ①語頭の喉頭化音は「ッ」を前置させたカタカナ表記をする。本報告に用いた喉頭化音と対応する音声を以下に記す。
ツン [ʔn]、ツヤ [ʔja]、ツニヤ [n'a]、ツツイ [ts'i]、ツチ [tʃi]、
ツチャ [tʃa]、ツテヤ [tʃa]、ツラ [r'a]、ツユ [ʔju]、ツチュ [tʃu]、
ツマ [m'a]
②アクセントは、上ガリを「↑」、下ガリを「↓」で表記する。

III 調査結果

- I. 自己の自発的な行動を立ち上げるために、自己に向かって発信する「立ち上げ詞」
 - (1) どっこいしょ。一休みしよう。
 - チュゲ↑ー ツツァ↑ンナ。一休みしないか。/イトウ↑チャ ユフ↑ティニャンナ。
ちょっと休まないか。<一休みするとき、「どっこいしょ」に対応する立ち上げ詞は使われない。>
 - (2) どうれ。出かけることにしよう。
 - マ↑タ シカ↑キティニャンナ、「へ↑イ。また出かけてみようか、おい。/ド↑ッコイショ。シ↑カ↑キランナ。どっこいしょ。出かけよう。<「ド↑ッコイショ」は、腰を下ろして休んでいた状態から立ち上がる時、軽い力を出そうとするときの掛け声。東地区の人はあまり使わない。/「ディ↑ー」も使える。大きな力を出そ

- うとするときには、「ツャー」、「ヒヤ」>
- (3) よいこらしよ。とうとう山の天辺に着いた。
- ハーア、ヤ「トゥ」シ ヌブ「タンド」ー。はあ、やっと上ったよ。<当地では、例文の「よこらしよ」は使われない。>
- (4) しまった。もうちょっとで落ちるところだった！
- ア「キッチャビョー」、「ニヤ」 ウッ「ピ デー「ジ シュ」ータツツア。あーっ、こわ。すんでのところで大変なことになるところだった。<例文の「しまった」に対応する言い方はしない。>
- (5) くわばらくわばら。恐ろしかった！
- ア「キッチャビョー」。ツニャブ「ダ デー「ジ シュ」ータツツア。ウトウル「ー」シャアタツツア。あーこわこわ。危うく大変なことになるところだった。恐ろしかったあ。<「ウトウル「ー」シャ（恐ろしい）」は、ひとまず落ち着いた後に出る語。>/クワ「ー」ギンシャー、「クワ」ーギンシャー。桑の下、桑の下。<雷鳴が聞こえてきたとき、こう唱える。>/チョーツイ「カ」、チョーツイ「カ。経塚、経塚。<地震で揺れてきたとき、こう唱える。ウブム「ニ ツツイ」ンノー（大声で言うなよ）、と注意される。>
- (6) しめた！ 今度の魚は大きいぞ。
- ア「リ」ー、「ヒヤ」ー、シャ「ツツア」。「ツニャン」マー ウブ「ム」ンド「ー。あれ、まあ、やったね。今のは大物だぞー。<「しめた！」に対応する語はない。>
- (7) ままよ。飛び越えるしかない。
- ア「メ、フマ」ー 「トゥン」クイーランナレ「ー ナユ「ム」ナ。あー、ここは飛び越えるしかない。<「ままよ」に対応する語はない。>
- (8) なにくそ！負けてなるものか。
- ツチ「ツティ」ヨ「ー」イ。アリ「ナイ マ「キ」ティ ナユ「ミ」エ。なにくそー。あいつに負けてなるものか。<「ツチ「ツティ」ヨ「ー」イ」は男性専用語。同じ事態で「ツチャ」ー」も使われる。>
- (9) しめしめ！誰も気がついていない。
- シャ「ンド」ー。タン「 キ「ー スイカンド」ー。やったね。誰も気がついてないよ。<「しめしめ」に対応する語はない。>
- (10) ちえっ。つまらないなあ。
- ツチャ「ー。シュ」ーマランサー。フヌグ「ー」トウル フトゥ「ー ナラ「ー」ノ。ちえっ。気に入らない。このようなこと、できないよ。<「ツチャ」ー」は年配者がよく使う語。若年層は「アチャ「ー」を使う。>
- (11) ちくしょう。仕返しをしてやる。
- ヨ「ー」シューウリ。シ「ー」ケーチトゥラ「シ」ドウ シュ「ール。つべこべ言うな。仕返ししてくれてやる。<この「ちくしょう」には、「ヨ「ー」シューウリ」（黙てる）がよく使われる。>

- (12) くそつ。覚えていろ！
- ッチャ「ー。 ウビ「トゥーキヨ「ー。 くそつ！覚えとけ。<「くそつ」には、「ッチャ「ー」がだいたい対応する。>
- (13) おやおや、いったいどうしたの。
- ア「メア「メ。ナ「チュースイ「ガ、ヌ「ー ヤタ「ー。 おやおや、泣いてるけど、どうしたんだい。<非常に驚いたときの声掛けは「ア「キ「チャビヨ「ー」、多少軽い驚きは「ア「メ」が使われる。>
- (14) えへん、えへん。我輩は村一番の力持ちじゃ。
- ヘ「イツツァ、「ワン「ヤ ジマジュ「ー イチバ「ン チュー「バ「ード「ー。 えっへん、わしは村中で一番力持ちだぞ。<「ヘ「イツツァ」は皆の注目を集めたいときの声かけ語。>
- (15) はてな、ここはどこだろう？
- アメ「ー。フ「マ「ヤ ダ「ー ナトゥーヨ「ー「ヤ。 あれえ、ここはどこになってるんだ？<「アメ「ー」は疑問を感じたときにとっさに出てくる語。>

II 他者の発話に呼応して、応答の発話を立ち上げる「立ち上げ詞」

- (16) はい、承知いたしました。
- ウウ「ー、ワカヤ「ビタン。 はい、わかりました。<「ウウ「ー」は最も丁寧な肯定の返事。少々敬意の下がる相手には、「ヲ「ー」を使う。>
- (17) はい。よろしゅうございます。
- ウウ「ー、マンデ「ヌ 「インシエル トウ「ーイ ヤイ「ビン。 はい、あなた様のおっしゃる通りでございます。<この表現は(16)の言い方よりも丁寧。「よろしゅうございます」に対応する言い方はない。「ヤイ「ビン」は、「ヤヤ「ビン」(純粋な伊江島方言)の変化形。>
- (18) ええ、ここにいます。
- ヲ「ー、フ「マ「ナイ ウウイ「ビン。 はい、ここにおります。<司会者が中年層の場合の返事の仕方。年長者であれば、ごく丁寧な答え方の「ウウ「ー」と返事をする。「ウウイ「ビン」は、伝統的な言い方では「ウウヤ「ビン」。>
- (19) んだ。私の傘です。
- ッン「ー、ワー「ム「ン ヤッ「ツァ。 うん、わしのだよ。<「ッン「ー」は同等以下の相手に対する肯定の返事。西地区では「イン」が使われる。>
- (20) さよう、さよう。あなたの言う通り。
- ヤッ「ツァ、「ヤッ「ツァ。 ッラ「ー ッユ「ールグートウ ヤッ「ツァ。 そうだ、そうだ。お前さんの言う通りだ。<「ヤッ「ツァ」の直訳は「であるよ、だよ」。相手の話を肯定するときに発する語で、調査文例の「さよう」に相当する。>
- (21) はいきた。おやすいご用です。
- ア「メ、イン「ン。ウ「レ「ー ティダン「 ネー「ヌ フトゥ「ー「 ヤッ「ツァ。 ああ、

いいよ。それはすぐできることだよ。<「ティダン ネン」は「手の込むようなことではない」の意。>/ ア⁷メ、イ⁷ン。ドゥーヤスイ⁷ム⁷ンドウ ヤム⁷ンナ。
ああ、いいよ。たやすいことだよ。

(22) よっしゃ。やりましょう。

- イグエ⁷ー。「シュ⁷ツツア。 うん、もちろん。するよ。<「イグエ⁷ー」は承諾の意、「もちろん」の意が入る。年配者がよく使う語。>

(23) よしきた。お引き受けたいしましょう。

- スイ⁷ニヤ⁷ピン。ワ⁷ー シ⁷ーウシャギヤピン。 いいですよ。私がしてさしあげます。<「よしきた」に対応する語はない。>

(24) がってんだ。一緒にいきましょう。

- ガッ⁷ティン シャ⁷ービタン。マジ⁷ー イチャ⁷ビツツア。 承知しました。一緒に行きますよ。<同等以下の相手には「ガッ⁷ティン⁷ ヤッ⁷ツア (承知だよ)」を使う。>

(25) かつばのへだ。簡単だ。

- ア⁷メ、ウヌ フトウ⁷ー⁷ドウ ヤレ⁷ー ドゥー⁷ヤ⁷ツツアヌ。スイグ⁷ ナユン。おや、そのことなら簡単だ。すぐできる。<「かつばのへ」に対応する言い方はない。>

(26) いえいえ、とんでもございません。

- ウウ⁷ー⁷ウウ⁷ー、ア⁷ニ ッヤ⁷ーリル フト⁷ー ヤヤ⁷ピラン。 いえいえ、そんなに言われることではございません。<「ウウ⁷ー⁷ウウ⁷ー」は否定を表すもつとも丁寧な返事。「とんでもない」に対応する言い方はない。>

(27) なんの、たいしたことではございません。

- ウウ⁷ー⁷ウウ⁷ー、ッヤ⁷ーリルグ⁷トール フト⁷ー ヤヤ⁷ピラン。 いえいえ、言われるほどのことはございません。<丁寧な言い方。同等以下の相手に対するときは、「ア⁷イ」を使う。>

(28) なあに、擦り傷ぐらい、すぐ治るさ。

- ヌ⁷ー⁷ガ、スイーキ⁷ズイ⁷デムナ。スイグ⁷イ ノーユ⁷ツツア。なあに、擦り傷じゃないか。すぐ治るさ。<「ヌ⁷ー⁷ガ」はこの文脈でも使える。「なあに」に相当する語と考えてよい。>

(29) なにさ、いつも調子の良いことばかり言って！

- ヌ⁷ー⁷ ヤルバーガ。ツチャツパ⁷ル ワカユル プ⁷イ⁷ シ⁷ー。何だっけ言うんだ。いつもわかってるふりをして！<「ヌ⁷ー⁷ ヤルバーガ」は反発して言葉を投げ返すときに出てくる常套文句。>

(30) いやはや、とんだ目に遭いました。

- ア⁷キ⁷チャビヨ⁷ー、デー⁷ジ⁷ナ⁷ フトウ⁷ー ナヤ⁷ビタン。 あれまあまあ、大変なことになりました。<この「いやはや」には、深い感慨を表す「ア⁷キ⁷チャビヨ⁷ー」が使える。>

- (31) へん、勝手にしやがれ。
 ○ ツン「一。ツラ「一 マ「シ「 ヤルグ「トウ 「ツツイ「一バ。へん、お前がいいと思うようにしろ！<「ツン「一」は「へん」に対応する語。さげすみ・ののしりを表す助動詞「やがる」に対応する語はない。声の変化でその気持ちを表す。>
- (32) なめるんじゃねえよ。こいつ！
 ○ ツラ「一！ウ「セ「ティドウ ウウ「リ！ バかにしようてのかい！お前！ <ばかにする、という意味で「なめる」に対応する語を用いることはない。>
- (33) 冗談じゃない。口から出任せを言って！
 ○ ヌ「一「ディ「一。ク「チ「ヌ ア「ク「ママ ムニ「一 ッユ「一ミ！ 何だとお。口からの出任せを言うのか！ <「ヌ「一「ディ」は多用される語。相手の言葉をさえぎり、怒って反発する場面でも用いられる。>
- (34) だまらっしゃい。出鱈目ばかり言って！
 ○ ヨ「一「シウラニ。イーブシャカッ「ティ イッチ「一！ 黙らんか。言いたい放題のことを言って！
- (35) そうは間屋がおろさねえ。黙っていらねえ。
 ○ アンセ「一 ムノ「一 ナランド「一。ヨ「一「シューラランド「一。お前、そうじゃないだろう。黙ってられないぞ。<「そうは間屋がおろさない」という表現は、当地にはない。>
- (36) うそもへちまもありやしねえ。我慢できねえ。
 ○ ユクシム「ニ「ビケイ イッチ「一。ニズイ「ティ ニズイララ「ランド「一。 嘘ばかり言いおって。我慢しても我慢できるもんじゃないぞ。<「うそもへちまもない」という表現は、当地にはない。>
- (37) 寝言は寝て言え。このやろう。
 ○ ザマ「ムニヤ 「ニン「トウ「ティ イ「一バ、ヤナ「一！ 寝言は寝て言え、このやろう！<当地でも、調査文例に対応した表現をする。「ヤナ「一」は「プリ「ムノ「一」とも言われる。>
- (38) あたりきしゃかりきのけつのあな。当たり前だ。
 ○ アタル「メ「 ヤッ「ツァ。 当たり前だよ。<「あたりきしゃかりきのけつのあな」に対応する表現は、当地にはない。>
- (39) きみょうきてれつだ。それは変だ。
 ○ テイルマ「一「シャル フトゥ「一。ウリ「ヤ ウッカ「シヤ。 非常に珍しいこと。それはおかしい。<「きみょうきてれつ」に対応する表現は、当地にはない。>
- (40) ほほう、それは親孝行なお子さんですね。
 ○ ア「メア「メ。ウヤウムイン「グウ ヤッ「ツァ「一。 おやまあま。親孝行なお子さんだねえ。<「ア「メア「メ」または「ア「メ「一」は、驚いたり感動したりするときによく出てくる語。声の強弱・高低でその度合いが表される。>
- (41) まいったまいった。しかたがない。

- ヤマ「ー」 ッチャツツァ「ー。シカ「タ ネンサ。大変なことになったよ。しかたないね。<「ヤマ「ー」 ッチャ「ン」は、物事がこじれてどうにもならなくなった、の意。原意は、山を切った。>

III 他者との関係を立ち上げるために、他者との言語情報を結節する「立ち上げ詞」

- (42) もしもし、すみません。役場はどこにありますか。
- ヘ「イサリ、ブリ「ー ヤイ「ビスィガ、ヤ「ク「バヤ ダ「ー ヤヤ「ベーヤ。もしもし、失礼ですが、役場はどこでしょうか。<年配の男性なら「ウブ「ー「シュ、年配の女性であれば「バ「ー「パー」のように呼びかけることもある。>
- (43) のうのう、旅の人。お立ち寄りください。
- エ「ー「エ「ー、ダンカ「イ イメ「ンシエー。フ「マ「ウウティ ユ「フン「ショリバ。もしもし、どこへおいでですか。ここでお休みください。<呼びかける相手が目下の相手には「エ「ー、エ「ー「エ「ー」と言う。相手が年配であっても「エ「ー「エ「ー」と呼びかけることもある。呼びかけとして「タディン「チュ（旅の人）」を用いることはない。>
- (44) ほら、ご覧なさい。向こうに公園があります。
- エ「ー、ニョ「ー「リバ。ア「マ「ナイ アスイディク「チヌ アヤ「ビツツァ。ほら、ご覧なさい。あそこに公園がありますよ。<「ニョ「ー「リバ」は軽い敬意を持つ相手の動作を表す表現。高い敬意を払う相手には「ニン「ショリバ」。>
- (45) やいやい。こんなに朝早くからどこへ行くんだ？
- エ「ー「エ「ー、「アン「シ アサペ「ー「サ ダンカ「イ イチョ「ー。これこれ、朝早くどこへ行くのか。<「エ「ー「エ「ー」は、注意してやめさせたいときの呼びかけにも使われる。>
- (46) よう、兄弟。これから何をするつもりだい？
- ヘ「イ、チョー「デ。ウリー「ラ ヌー「シュール スィ「ム「イガ。よう、兄弟。これから何をするつもりか。<「へイ」は、気軽な相手に気軽に呼びかける語>
- (47) いざ、さらば。
- イチ「バ「ド「ー。さようなら。<最も一般的な別れの挨拶。特に気取った言い方はしない。>/イメ「ンショリバ。<年長者への別れの挨拶>/イチ「ボ「キ「ー。<「イチ「バ 「オー「イ」の短略形で、若年層が使う言い方。>
- (48) ささ、ご遠慮なく召し上がってください。
- サ「リ「サ「リ、アルム「ン デ「ー「ビル。ウシャ「ガンショリ。さあさあ、ありあわせの物でございます。召し上がってください。<「サ「リ「サ「リ」は、人に物を薦めるときの丁寧な誘い言葉。>
- (49) さて、そろそろ一服しませんか。
- 「ツニヤ「 チュ「ブ「チ シキン「ショランナ。<さて、そろそろ一服なさいませんか。<「ツニヤ」は、「もう、今」の意味でよく使われるが、例文の「さて」の意

にも使える。「ツニヤ」の代わりに「ディー」も使える。>

(50) これこれ、ちょっと静かにしなさい。

- エー「エー、イトウ「チャ ヨー「シウリ。これこれ、ちょっと静かにしてなさい。<「エー「エー」は、怒ったり叱ったりするときの呼びかけにも使われる。>

(51) おい、こら。万引きをしてはいけない。

- エー！「ツチュ「ヌムン トウレ「 ナラン「ド「。こら！人の物を盗ってはいかんぞ。<叱るときの「エー」は、強く発声する。古くは、「エ「ツシヤ」と言われた。>

(52) おどりゃあ。いい加減にしなさい。

- ッラ「ヤ「 イクム「ドウ「シ エー、ワカ「ヨ「。スイマサ「ニ！ お前は、何回言えばわかるんだ。いい加減にせんか。<「お前」の罵り形はない。「ッラ「ヤ「」を強く発音することで、叱責の意を表す。>

(53) おのれ、裏切りやがったな。

- ッラ「ヤ「 アイチ「ク「マサー「ディドウ ヤ「リ！ お前ってやつは、陥れようってか！<「～やがる」に対応する語はない。>

(54) どっこい。その手には乗らない。

- ア「メ「、マ「タ 「ッラ「 アンダグ「チャ ヌラン「ド「。いやいや、二度とお前の口車には乗らんぞ。<「ア「メ」は相手の提言を拒否する気持ちの表現で、例文の「どっこい」に近い。>

(55) どうだ、参ったか。

- イ「チャ「ガ。ド「「ディン ヤ「ミ。 どうだ。降参か。

(56) せいの、よいしょ！

- セー「ノ、ヒ「ヤ 「ツツァ「！ せいの、よいしょ！/ディー マジ「 ヘ「イ。<「セー「ノ」は、60年くらい前から使われている。/力をあわせる時の、昔から使われていた掛け声。>

(57) ようい、どん。

- 「ヨー「イ、「ット「ン。ようい、どん。<戦前から使われている。「ド「ン」でなく、「ット「ン」で、「ド「ン」はその後使われだした言い方。>

(58) いっせいの、で！

- セー「ノ！ せいの！<「いっせいの、で！」は使われない。>

(59) よいしょ、よいしょ、もう一息だ。

- ヨイ「ショー「 ヨイ「ショー、「ニヤ チュ「イ「チ！ よいしょ よいしょ、もう一息。<「ヨイ「ショー」は戦前から使用されている。>

(60) うんとこしょ、どっこいしょ。もう少しだ。

- ヨ「イ「ショ、「ド「ッコイ「ショ。「ニヤ「 イ「トウ「チャ。よいしょ、どっこいしょ。もう少し。/ヒ「ヤ 「ツツァ「 「ハ「イ 「ヤ「、「ヒ「ヤ 「ツツァ「 「ハ「

イ「ヤー。

- (61) わっしょい、わっしょい、祭りだ、わっしょい。…お神輿を担ぐ風習はない。
○ ピーピー「ワッショイ「ワッショイ、ピーピー「ワッショイ「ワッショイ。<ピーピーは笛、笛がないときは人が言う。戦前から戦後にかけて、早起き奨励運動として各部落の小中学校生が声を掛け合って集まり、一団となって部落を一周走った。「ワッショイ」はそのときの掛け声。昭和25年頃までであった。>
- (62) はじめはぐう、じゃんけん、ぼん！あいこでしょ。
○ セー「ノ、ジャンケンポン。<「サイショワ「グー」を言い出したのは、昭和40年代半ばから。>/ブー「サ「ヘーイ、ブー「サ「ヘーイ。<「ブーサ」は虫拳（昔のじゃんけん）。「ヘーイ」で、親指、人差し指、小指のいずれかを出す。>
- (63) きをつけえ、まえへならえ、なおい。
○ キ「オ「ツ「ケー、マ「エー「ナラ「エ、ナ「オレ。<整列するときの掛け声。戦前からこの言い方をしている。>
- (64) きりつ、れい、ちゃくせき。
○ キ「リ「ツ、「レ「イ、チャク「セ「キ。<戦前からこの言い方をしている。>
- (65) ばんざい、ばんざい、やった、やった！
○ バン「ザー「イ、バン「ザー「イ。「シャ「ン「シャ「ン。ばんざい、ばんざい、やった、やった！<「シャ「ン」は、「ディカチャ「ン」とも言われる。>
- (66) えいえいおう。がんばるぞ。
○ 「エ「イ「エ「イ「オー。「ガンバロー」。<「エ「イ「エ「イ「オー」の後には「ガンバロー」を使い、伊江島方言では言わない。>
- (67) 中村君の誕生日を祝して、かんぱい。おめでとう。
○ ツ「マ「リ「ディヌ「ユウエ「ー「ナヤ「ビ「ティ「カ「ラ「タ「ニン「グ「ウンヌ「ウー「ト「ト「シャ「ー「ビ「ラ。誕生日の祝いになりまして、健康祈願の願いをいたしましたよう。
- (68) やっほう。やっほう。
○ 「オー「イ「オー「イ。おーい、おーい。<大声で叫ぶときの言い方。>
- (69) ふれえ、ふれえ、白組。…
○ ア「リ「ア「リ「ア「リ。がんばれ、がんばれ、がんばれ。<かけっこ等、応援するときの掛け声。>
- (70) おにはそと、ふくはうち。…… 行事そのものはない。
キーフトウ「ヤ「ヤーウチンカ「イ、ヤ「ナ「フトウ「ヤ「ポホンカ「イ。いいことは家の中へ、悪いことは外へ。<子や孫を躱げるときによく出てくる表現。>
- (71) べらぼうめ、とんでもない子だ。
○ プ「リ「ワ「ラ「ビ、マ「タ「ヌ「ー「シャ「ー。いたずら坊主、また何をしたんだ！<「べらぼうめ」に対応する語はない。「プリ「ワ「ラ「ビ」同意語に、「ハダニワ「ラ「ビ」「ヤ「ナ「ワ「ラ「ビ」がある。>

- (72) それみたことか、わんぱく坊主。
 ○ ウ⁷リ、「ンチ⁷ンニー⁷バ。イチ⁷ン チ⁷チャ⁷ントウ アン⁷シ ナユルバー⁷ヤ⁷ツツァ。フル⁷サリンドー、プ⁷リ⁷ワラビ！ それ、みなさい。言っても聞かないからあんなことになるんだよ。しばくぞ、わんぱく坊主。
- (73) ざまあ、みろ。いい気味だ。
 ○ ウ⁷リ、ンチ⁷ンニー⁷バ。キ⁷ー⁷バー ヤツツァ。ほら、見てみい。いい気味だ。
- (74) ちくしょうめ、ひどいことを言いやがる。
 ○ ヤナ⁷ー、アク⁷マー。「ツラ⁷ーヤ プ⁷リ⁷ムニ シュー⁷ティ、ヌガラ⁷サ⁷ンドー。ちくしょう！お前、ばかげたことを言いよって、許さんぞー。
- (75) このやろう。どうしてくれようか。
 ○ エ⁷ー、ヤナ⁷ー。イ⁷チャ⁷ シュー⁷トウヨ⁷ー。こら、このわるが。どうしてくれようか。＜「ヤナ⁷ー」の代わりに、「アク⁷マー」と言われることもある。＞
- (76) たわけ、ふざけた事を言うんじゃない。
 ○ ヌ⁷ー⁷ ヤルバーガ。プ⁷リ⁷ムニ イ⁷ンナ。なにい、ざれごとを言うな。
- (77) ばかやろう、いい加減なことを言うな。
 ○ プ⁷リ⁷ムン、テーグ⁷ーナ フトゥ⁷ー イ⁷ンナ。バカたれが、いい加減なことを言うな。
- (78) あなかま、静かにしなさい。
 ○ ニニイン⁷チャ⁷ー⁷サヌ。ヨ⁷ー⁷シウウ⁷リ。やかましい。静かにしなさい。
- (79) しいいっ、静かにして！
 ○ パナ⁷シ チチャ⁷ラントウ、ヨ⁷ー⁷シュー⁷リヨ⁷ー。話が聞こえないから、静かにしなさいよ。＜「しいいっ」に対応する言い方はない。＞
- (80) ちちんぷいぷい、蛙、蛙、生き返れ。
 ○ フイ⁷「フイ⁷。ツニュー⁷チ イチ⁷ヨ⁷ー。ツニュー⁷チ イチ⁷ヨ⁷ー。(死にそうになっている鶏に牛の乾燥糞を嗅がせて) フイ⁷フイ、生きろよ、生きろよ。
- (81) あっかんべい、鬼さん、こちら。
 ○ ベール⁷クワックワ。ウニ⁷ヤ ツマ⁷ー、ウニ⁷ヤ ツマ⁷ー。あっかんべー。鬼さん、こちら、鬼さん、こちら。
- (82) あっばれ、お見事。立派です。
 ○ チバ⁷タン。チビラ⁷ー⁷シャ。ジョ⁷ー⁷チバイ シャ⁷ツツァ⁷ー。頑張った。すばらしい。良い頑張りをしたねえ。＜「あっばれ」に対応する感動詞はない。＞
- (83) でかした、でかした。日本一。
 ○ ディカ⁷チャ⁷ン、ディカ⁷チャ⁷ン。イツ⁷ト⁷ー⁷ショー。でかした。でかした。一等賞。
- (84) しっけい！すみません。
 ○ プ⁷リ シャ⁷ー⁷ビタン。フネ⁷ティ⁷トウ⁷ラシャ⁷ンネ。失礼しました。勘弁してください。＜「しっけい」に対応する感動詞はない。＞

(85) あばよ、達者でな。

- イチ「バ」ド「ー」。「チュ「ー」パンジヨ「ー」。さようなら。元気でね。<「あばよ」に対応する感動詞はない。>

IV まとめ

1 共通語「立ち上げ詞」を伊江村方言に置き換えられる場合

発奮・憤り・驚き・感慨 等		応答	
2 どうれ	△ディ「ー」	16・17 はい	ウウ「ー」
49 さて	△ディ「ー」/「ッニヤ」	18 ええ	ヲ「ー」
8 なにくそ	ツチ「ッ」ティ「ヨ「ー」イ	19 んだ	△ッ「ン」ー/イ「ン
10 ちえ!	ツチャ「ー」	20 さようさよう	ヤッ「ツ」ア「 ャッ「ツ」ア
12 くそ!	△ツチャ「ー」	22 よっしゃ	△イグエ「ー」
13 おやおや	ア「メ」ア「メ	24 がってんだ	ガッ「ティ」ン ャッ「ツ」ア
40 ほほう	ア「メ」ア「メ/ア「メ「ー」	26 いえいえ	ウウ「ー」ウウ「ー」
15 はてな	△ア「メ」ー	27 なんの	△ア「イ
14 えへん	△へ「イ」ッ「ツ」ア	28 なあに	△ヌ「ー」ガ
30 いやはや	△ア「キ」チャビヨ「ー」	29 なにさ	△ヌ「ー」 ヤルバーガ
81 あっかんべい	ベール「ク」ワック「ク」	31 へん	ッ「ン」ー

△は、伊江村方言へのゆるやかな置き換え

呼びかけ

42 もしもし	へ「イ」サリ/エ「ー」エ「ー」	51 おい、こら	エ「ッ」ッ「シ」ヤ/エ「ー」
43 のうのう	エ「ー」エ「ー」	44 ほら	エ「ー」
45 やいやい	エ「ー」エ「ー」	46 よう	へ「イ
50 これこれ	エ「ー」エ「ー」	48 ささ	サ「リ」サ「リ

2 共通語が伊江村方言の中で借用されている場合

(1) 共通語と意味・用法においてズレが認められる

1・60 どっこいしょ/61 わっしょい、わっしょい

(2) 共通語と意味・用法においてズレが認められない

56 せい、よいしょ/57 ようい、どん/57 よいしょ、よいしょ/62 じゃんけん、ぼん

63 気をつけえ、まえへならえ、なおれ/64 きりつ、れい、ちゃくせき。

66 えいえいおう。がんばるぞ/65 ばんざい、ばんざい!

3 共通語「立ち上げ詞」に対応する伊江村方言がない場合

3 よいこらしょ/4 しまった/5 くわばらくわばら/6 しめた/7 ままよ/9 しめしめ!等

(おしお むつこ 広島経済大学)